CS委員が学園の取り組みを見てきました(学園ホームページにも記事掲載予定)

【兄弟学年交流　6/7(土)】

兄弟学年とは、新一年生が入学した年にお世話してくれた6年生との学年交流。小2と中1、小3と中2、小4と中3です。今日は雨天の中、五中の3年生が中原と東台それぞれの母校に行きました。中学生と一緒に大縄跳びをした小学生の感想は、「さすが中学生。かっこいい！」「スピードがあってこわかった。」「やさしかった。」中学生の感想は、「久しぶりに小学生と遊べて楽しかった。」「疲れたー。」「小学生、かわいかった。」

プログラムを考えるのは先生方。昨年の経験を踏まえて、取り上げる内容、取り組み方を研究しているそうです。なつかしい妹、弟との共同作業に中学生も楽しそうななかに、背筋が伸びているように見えます。

午後は、五中にて小6の中学校プレ講座が行われ、自分の希望する授業を受けました。中学校の教室で中学校の先生の授業を受ける。いい刺激になりそうですね。

いっしょに絵を描く

【五中生・職業人の話を聞く会　6/19(木)】

おやじの会を中心に、CS 委員会サポート部やシニア SOHO などを通じて集まった職業人22名を迎えるのは、5～6人の班に分かれた中2生。班ごとに、事前に質問事項を考え、お話しくださる方の業種や職種について調べて、当日を迎えました。講師はそれぞれ工夫を凝らした内容で、生徒たちに職業人であることの意義や困難、責任、可能性などについて語っていました。

聞き取りの結果は各班で整理し、後日発表会が行われました。発表会は今年初めて取り入れられた取り組み。みんなで発表することで「発表する力を育て」つつ、聞くチャンスのなかった他の職業人の話も共有することができます。

フリーアナウンサーの国沢真弓さんについて発表したチーム。

「国沢さんから、お話しの最後に『わかりやすい、伝わりやすい話し方』について習いました」と。背筋を伸ばして前を向いて、口をはっきり開けての発表、なるほど、聞いたことを、さっそく役立てていますね！

【学園研究会　7/2(水)】

2年がかりの研究テーマは、「自分の考えを『もつ』『伝える』『深める』～思考力・表現力を育てる指導法の工夫～」です。今回の研究会の校長先生方お勧めのポイントは、五中「数学科で、今年度新採用の先生が授業研究の成果をいかにに実践しているかを見てください」東台小「支援学級の授業の工夫を見てください」中原小「全部お勧めですが、特に体育系がお勧めです」。

実際の授業を見せていただきました。指導案の記述を参考にすると、その授業の狙いや工夫がどこなのか、小・中一貫の教育課程の中でどのような位置づけなのか、見学する先生方がどこに注目しているかなどがよく分かります(授業後、振り返りの研修会や講師による講評の時間があるそうです)。たとえば、五中の数学の授業では「実物を見せる」「自分で考えさせる」「お互いに考え合う」が狙いであり、小学生で習ったこと、現在の進度などを踏まえて授業の工夫をしていることが分かります。授業とは、つねに改善されていくものなのだということが分かりました。

2年をかけた研究結果の発表は、今年 10 月 31 日(金)。見学歓迎！

数学:文字式の学習

支援学級:国語の学習

鷹南学園

コミュニティ・スクール委員会だより

平成 26 年度第1号　　発行日：平成 26 年 7 月 14 日

発行責任者：鷹南学園ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｽｸｰﾙ委員会　会長　小田切茂美　編集：同委員会広報部

皆様こんにちは。新しい委員２名を迎え26年度がスタートしました。今年度の CS 委員会では、昨年作成しました「鷹南っ子ジャンプアッププラン2013」を具現化するためのアクションを各部会で起こしていきたいと思っております。5月16日に CS 委員と地域諸団体、学園3校の先生方が一堂に会す鷹南会が行われ、情報交換の場となりました。こんなにたくさんの方々に鷹南学園が支えられていることを改めて実感し心強く感じました。今年度も学校・地域・保護者が一丸となって鷹南学園を応援していきたいと思います。

鷹南学園コミュニティ・スクール委員会会長　小田切茂美

評価部の中村裕子(なかむらゆうこ)です。東台小学校 PTA 役員も初めてですし、CS 委員会に参加するもの初めてです。地域と子供たちと PTA の架け橋となれるように 1 年間頑張りたいと思っています。

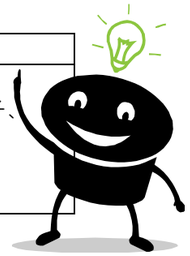
今年度よりCS委員サポート部所属になりました、西村裕美(にしむらひろみ)です。小物作りやお菓子作りが好きです。ストレス発散法はひとりでドライブに行くことです。マルチーズを飼っていますので、お散歩でみかけた方は　声をかけてください(^o^)/

2014.06.鷹南会

内藤　章(ないとうあきら)です。4月から中原小副校長としてお世話になっています。初めての仕事に毎日バタバタしています。野球と車が大好きです。今は膝の痛みを何とかしようといろいろ試しています。これからも現役にこだわって、まだまだ進化したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

学園長、白井千晴です。(校外学習引率のため撮影に間に合いませんでした･･･)。保護者、地域と学園が一体になって子供たちを育てていくのに、是非お力を貸してください。

サポート部	広報部	評価部
松本　猛(部長)	松島真理(部長)	南條　勉(部長)
内藤和巳(担当校長)	伊藤陽一郎(担当校長)	小田切茂美、畑谷貴美子、
大橋智久、斎藤達也、島田良次、	市之瀬静枝、國中弥生、	中野優子、中村裕子、
西村裕美、星野利子、間壁武宏、	富澤伸元、本田ハツ江	宮﨑眞由美、
内藤　章(担当副校長)	清水　晃(担当副校長)	早川祐二(担当副校長)

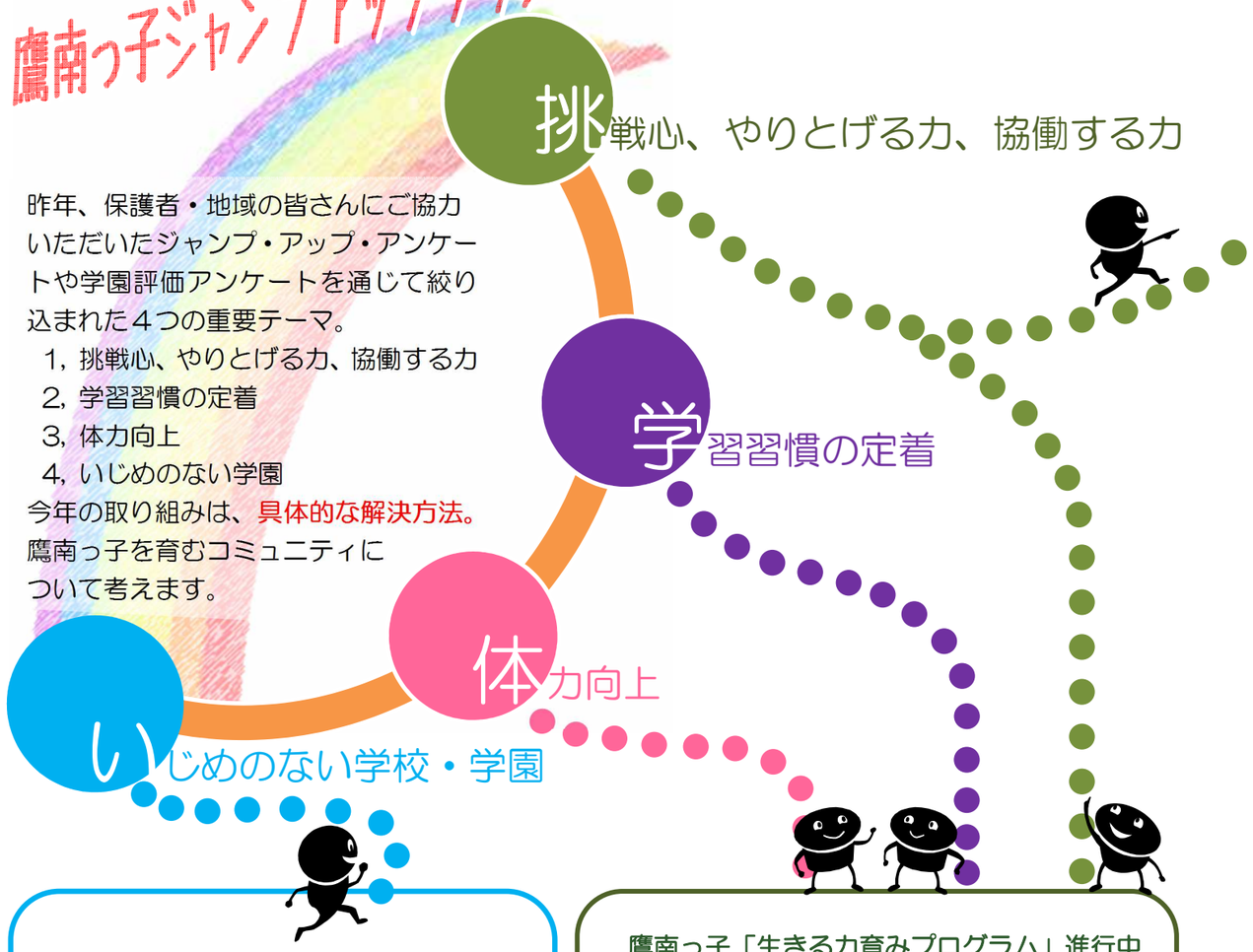


鷹南っ子ジャンプアッププラン

昨年、保護者・地域の皆さんにご協力いただいたジャンプ・アップ・アンケートや学園評価アンケートを通じて絞り込まれた４つの重要テーマ。

1, 挑戦心、やりとげる力、協働する力
2, 学習習慣の定着
3, 体力向上
4, いじめのない学園

今年の取り組みは、具体的な解決方法。
鷹南っ子を育むコミュニティについて考えます。



各学校では、昨年度の子供熟議をふまえ、小学校の児童会、中学校の生徒会が一緒になって、対策を考えました。
まず各校で「いやな言葉、いやな行動」についてのアンケートを行い、児童・生徒会が一緒になってその結果を分析し、いじめのない学校・学園づくりのために自分たちができることについて話し合いました。
話し合いの結果について、各校の朝礼で合同発表が行われました。

鷹南っ子「生きる力育みプログラム」進行中

挑 異文化体験　企画中

いろんな国からきたひとと交流してみたら？
自分の気持ち、どうやったらつたわる？

挑 学 検定に挑戦！

親子で、兄弟で、友だちと、漢字検定にチャレンジしよう。 2014.11.15 実施予定

挑 体 体力測定フェスタ　企画中

親子で、兄弟で、友だちと、
楽しく自分の体力の限界にチャレンジ！

挑 鷹南っ子「生きる力育みプログラム」始まりました

本番では「気の持ちよう」が一番大切だと思うあなたに質問です。
「はい」と思う項目にチェックをつけてください。

- □ 集中力を高めろと言われたら、その方法を伝えられますか？
- □ やる気を出させと言われたら、その方法を伝えられますか？
- □ 根性を出させと言われたら、その方法を伝えられますか？
- □ 本気を出させと言われたら、その方法を伝えられますか？
- □ プラスに考えろと言われたら、その方法を伝えられますか？
- □ みそ汁を作れと言われたら、その方法を伝えられますか？

自分で作ったことのあるみそ汁なら、子供にも作り方を伝えられるけれど「心を鍛える方法」って子供たちにどう伝えればいいの？

大人は、すぐに「やる気を出しなさい！」っていうけれど、どうやったら「やる気が出る」の？

「〇〇〇したら、やる気が出てくる」というシンプルなノウハウがあります。
たとえば、背筋を伸ばすだけでも気持ちが前向きになる。

そんなノウハウを知っていたら、スポーツの試合でも、試験でも、人前で話をしなくちゃいけないときにも、自分の力が発揮できるはず。

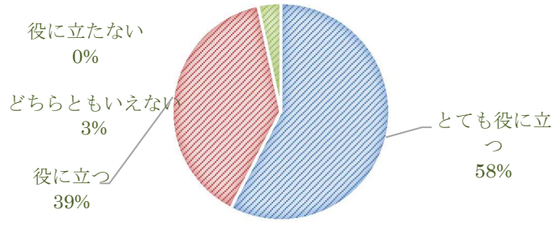
メンタル・トレーニング
～保護者・指導者むけ～
今年度、あと２回

メンタル・トレーニング
～児童・生徒むけ～
今年度、全３回

すべての人に、一発で効く特効薬はないけれど、やってみたら少しずつ変わる。絶対変わる。
変わりはじめるなら、今。
次回のご案内をお楽しみに！

第１回セミナー参加者 75 名の声より
（2014.6.28 開催）

- ポジティブ・シンキングという考え方、パワーをもらいました。
- とても楽しかったです。具体的な内容だったので実践してみたいです。
- 指導者の教育も大切だと感じました。
- やっぱり子供は「ほめて育てる」ですね。
- 次年度以降も継続してセミナーを開催して欲しいです。



子育て・指導の役に立ちそう？

本格導入へ向けて、効果を検証！